

国家で秘密にして何をするのか。取り返しのつかない民主政治の破壊にストップを！

秘密法で 戦争準備・原発推進

—市民が主権者である社会を否定する秘密保護法

海渡雄一（日弁連前事務総長、脱原発弁護団全国連絡会共同代表）著 四六判 1400円（税別）

秘密法で
戦争準備
原発推進

海渡雄一著

市民が主権者である
社会を否定する
秘密保護法

創史社

国にとっての秘密とは何でしょうか。それを明らかにされないまま法案が制定されようとしています。

戦争準備に備えて機密情報管理のため、そして「テロ対策」という名目で原発関連情報を隠し、市民の生命を脅かす狙いの法案の問題点をわかりやすく説明します。

取り返しのつかない民主政治の破壊に立ち向かうために緊急出版し、多くの人に訴えます。

【内容】第一 真の対立軸は何か／第二 原子力は特定秘密の対象とされるか／第三 原子力と軍事技術／第四 福島原発事故では何が隠されたのか／第五 秘密法で何が秘密とされるのか／第六 秘密法でどんな行為が処罰されるのか／第七 秘密保全法制は戦争準備のためのもの／第八 外交は秘密が当然か／第九 テロ対策とスパイの防止 警察情報も特定秘密に／第一〇 スノーデン氏が明らかにしたプリズム／第一一 憲法・平和主義と表現の自由の危機に抗して／第一二 秘密保護法案はツワネ原則違反／第一三 憲法の目的は何か、憲法は誰のものか／第一四 立憲主義を破壊する自民党日本国憲法改正案の本質／第一五 九六条先行改憲の危険性／第一六 秘密保全法制との闘いと憲法・原発／資料編（ツワネ原則の抄訳他）

【海渡雄一 かいど・ゆういち】1981年弁護士登録、30年間にわたって、もんじゅ訴訟、六ヶ所村核燃料サイクル施設訴訟、浜岡原発訴訟、大間原発訴訟など原子力に関する訴訟多数を担当。2010年4月から12年5月まで日弁連事務総長。脱原発弁護団全国連絡会共同代表、脱原発法制定全国ネットワーク事務局長。著書に『原発訴訟』（岩波新書11年）、『監獄と人権2』（明石書店、04年）、『共謀罪とは何か』（保坂展人と共著、岩波ブックレット、06年）など。



著者

発行：創史社 185-0013 東京都国分寺市西恋ヶ窪 4-7-16 TEL,FAX:044-987-5584 sousisha@ybb.ne.jp

●書店に注文する場合は下記に記入してお申し込み下さい。また、お近くの図書館にリクエストして下さい。

書店名	注文	発行＝創史社 発売＝八月書館（電話：03-3815-0672）
		秘密法で戦争準備・原発推進 —市民が主権者である社会を否定する秘密保護法 海渡雄一著 本体 1400円
	冊	お名前 電話番号